

～18 ヶ月間立位保持不能から歩行自立した例～

51 歳、女性、くも膜下出血右片麻痺

<当院入院時歩けなかった原因>

- ① 左足の著明な筋力低下（健常者平均値の 27%）
- ② 右足の関節可動域制限

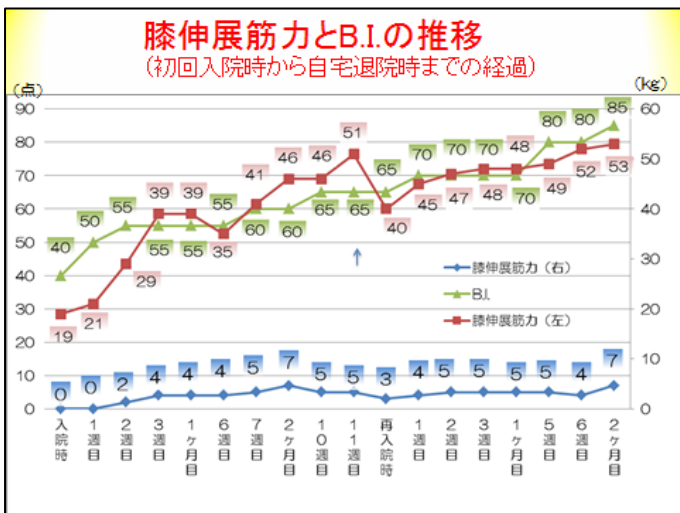
<リハビリ内容>

500～600 回/日の起立・着席運動を中心に行いました。

ストレッチは効果なく、1.5 ヶ月目にアキレス腱延長術を施行しました。

<治療結果>

- ・筋力は、右膝を伸ばす力：0 kg（0%）→7.2 kg
 左膝を伸ばす力：19 kg（27%）→52.7 kg（75.7%）に改善。 ※（）内は健常者平均値比
- ・日常生活動作は、Barthel Index で 40 点→85/100 点に改善。
- ☆車椅子・ベッド間移乗は自立。
- ☆歩行は短下肢装具と一本杖を使用し自立され、念願の自宅退院が出来ました。



➤ 本症例のように発病後 18 ヶ月半も立位保持困難、歩行困難な状態であっても、起立・着席運動で効率的に下肢筋力強化を行うことで歩行可能となり自宅退院につながりました。

(九州理学療法士・作業療法士合同学会 2014 で発表)